

盛泉寺謹製

六地藏手ぬぐい

盛泉寺は松本市・波田にある禅のお寺です。山門を抜けてすぐ、参道脇の石には六体の地藏さまが刻まれています。江戸時代名もなき人によって彫られたと伝えられています。

長年の雨風や雪によって、その姿は薄っすらとした線が微かに見えるだけです。でも、よく見るとお地藏さまはとても愛くるしい姿をしています。

その六地藏の上には「仏・法・僧」という字が刻まれています。この文字は、仏教の三つの宝物を表しています。

「仏」は、仏教を説いたお釈迦さま。

「法」は、そのお釈迦さまの説かれた仏教の教えを表します。

「僧」は、お坊さんという意味もありますが、仏さまの教えを大切にして生きるすべての人を宝物だと称えているのです。

六体のお地藏さまは、この三つの宝物を大切に抱きながら、今日も静かに皆さんの幸せを祈り続けています。

遙かな時を越えていつも温かな眼差しで皆さんを見守っているのです。

